

- ◆企画名 関大生なんでも Q&A
日 程 平成 26 年 4 月 2 日 (水) ~ 4 月 4 日 (金)
場 所 総合学生会館凜風館 1 階 屋外ブース
参加者数 14 名 (ピア・サポータ)
目 的

関西大学に入学したばかりの新生は、誰かに相談したくとも相談相手を見つけることが困難であると思われる。また、学内にはさまざまな部署があり、それぞれの機能に応じて学生の支援を行っているが、新生はどの部署に行けばよいかわからない。

本事業では、こうした右も左も分からない新生に対して、授業やサークル活動などをはじめ、大学生活（勉強とバイトの両立など）に対する不安を解消することを目的として、オリエンテーション期間にブースを設置し、個別相談に応じる。

また、本事業を行うことで、間接的にはあるが KU サポーターズの活動を新生に認知してもらうことも目的とする。

内 容

凜風館 1 階屋外にブースを設置し、主に新生を対象に各種相談に応じた。KU サポーターズのメンバーは常時 2 名以上でブースに待機し、道案内に関する相談が寄せられた場合には状況によって直接メンバーが現地まで誘導するなどして対応を行った。

また、本事業は入学して間もない新生を対象にオリエンテーション期間中における行事、各種学内相談窓口や教室等の場所といった簡単な質問に応じることを想定して実施しているため、例えば履修に関することや深刻な相談等ブースでの対応が困難な相談内容に関しては、学内の所定の窓口の紹介もしくは「ほっこり相談室」を紹介するなどして対応を行った。

効 果

- ・新生への道案内や相談の対応による手助け。
- ・凜風館外で活動することで、KU サポーターズ自体の活動告知の効果。

改 善 点

質問の多くは千里山キャンパス内の施設や部署についてであり、日頃から千里山キャンパスについてメンバー各自が多くを知っておく必要があると再認識した。

KU サポーターズの活動を認知してもらう目的に関して、こちらから団体名を名乗る場面が少なかったため、十分な広報効果があったとは言いがたい。実際のピア・サポート活動を一般学生に見てもらおう中で、徐々にピア・サポートへの興味と関心を培っていくことができれば、より一層のピア・サポート拡大にもつなげることができると考える。今後も本事業のようなピア・サポートを実践していきたい。

感 想

今年は 100 件を超える相談が寄せられた。道案内をはじめ、新生活への不安やサークル選びなど、昨年度よりも幅広い内容の質問が目立った。ほっこり相談室外での活動であったので、KU サポーターズの周知の面でも一定の効果があったものと思料する。

今後もこういった活動をすることで、関大生に対する幅広いサポートを実現していきたいと考える。